

2018年11月11日 メンバー：F田、O野、Tじ 計3名

川の淵の駐車場に6:30頃着いた時には満車に近い状態。川向こうの臨時駐車場はまだあまりとめられていないよう。それにしてもメインの駐車場が6:30でいっぱいとは人気の山らしい。まだこのほかにバスで上がってくる人もいたので登山口には結構人がいた。村中を通過して登山口を目指す。遠目に見る山は紅葉のピークを過ぎたもののまだ、赤、緑、唐松の茶色と楽しめる。銀晶水から国師ヶ原通り乾徳山を目指す。国師ヶ原は秋のススキの風景。標高が上がるにつれ徐々に岩場出現。一番の核心部は垂直の10数メートルの大きな岩。(鎖つき) F田は難なく登っていく。Tじも途中はらはらする場面もあったもののクリア。O野は一昨日の雨の影響にて岩がすべりやすく感じたので巻く。それから先はあっという間に頂上へ。頂上にて休憩。帰りはヒュッテ経由で国師ヶ原を目指す。下山してすぐガレ場が続く一昨日の雨の影響でとても滑りやすい。結構の悪路。そろりそろりと降りるので時間がかかる。なんとかヒュッテに着き休憩。ヒュッテという名のきれいな非難小屋。こんな非難小屋だったら良い夜を過ごせそう。平らなところでスペースもありまるでキャンプ場のよう。国師ヶ原からは来た道とは別の道の林道をそのまま直進し道満尾根を通り徳和へ。徳満尾根のほうが距離は長いが比較的傾斜が緩かった。駐車場に到着時には自車以外あと数台が残っている状態でほとんどが下山した様だった。天候は悪くは無かったが雲で展望はあまり望めない山行だった。

コースタイム 乾徳山登山口発 7:00 錦晶水 9:00 山頂 11:00 山頂発 11:30 ヒュッテ 13:10  
ヒュッテ発 13:20 登山口 15:00

